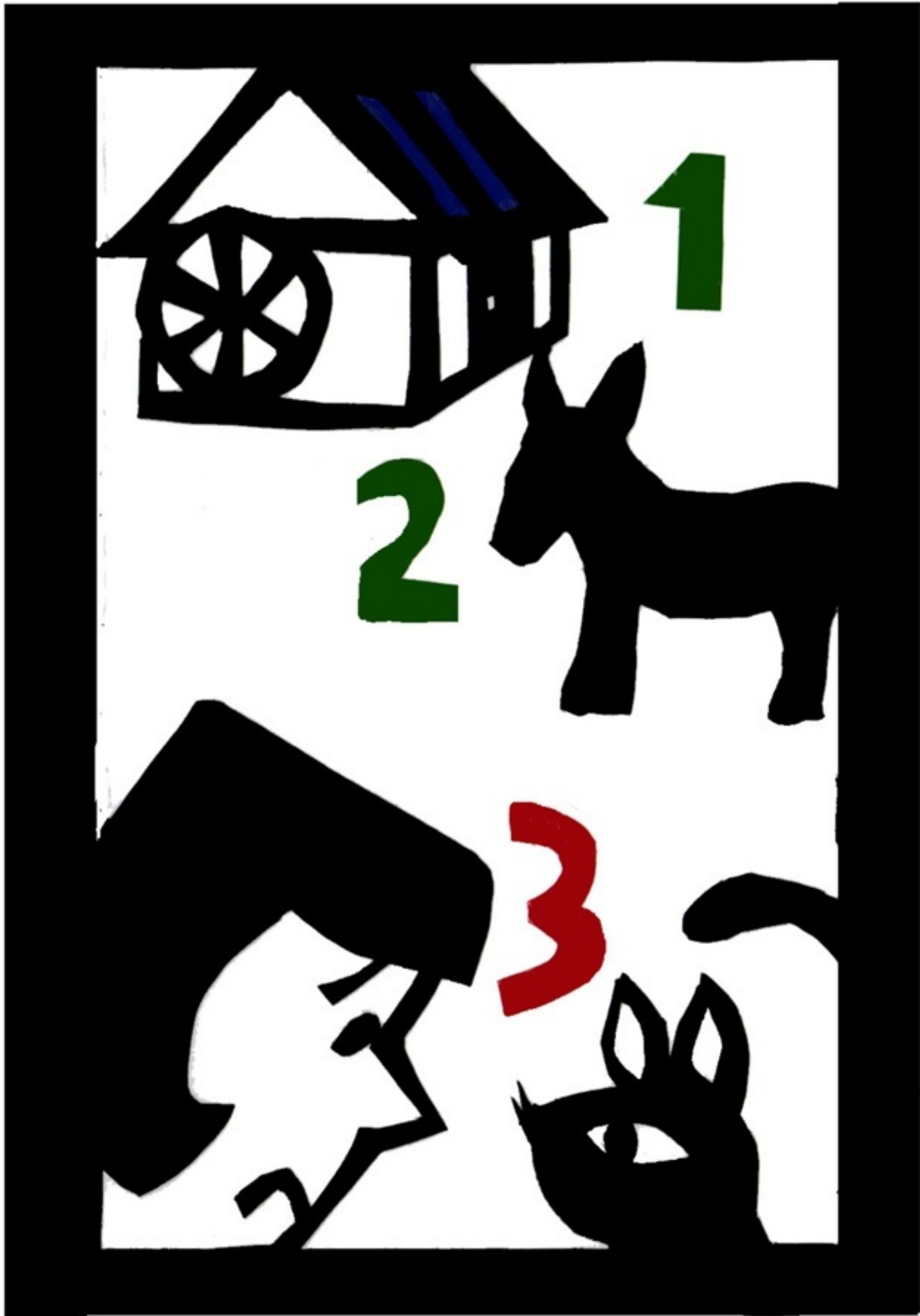




Le
chat
botté



むかしむかしとしおいた こなひきが なくなり、3にんのむすこが いさんわけをした。1ばんうえの むすこは こなひきごや。2ばんめの むすこは 口バをいっとう。すえっこの むすこは ネコをいっぴき もらいました。



すえっこむすこは がっかりした。にいさんたちは、 こなひきごやに、ロバがいて、はたらい
ていける。だけど、ネコいっぴき もらったところで、なんになる？ところが このネコ、かし
こいネコでにんげんのことばを はなしだした。そして ネコのいうことには、「わたしに き
れいな かわの ながぐつと、おおきなふくろを ひとつ ください。そうすれば、なんのしん
ぱいもいりませんよ」 かつこいいながぐつを てにいれたネコは、 のやまで うさぎやら さか
なやらを つかまえて、まいにち せっせと おうさまのところへ もっていった。「わたしの
あるじ、カラバこうしゃくから おうさまへの おくりものでございます」



あるとき、ネコは おうさまと おうじよさまが そろって おでかけになると ききつけま
した。おうじよさまは、せかいでいちばん うつくしいとひょうばんのおひめさまだ。ネコはい

そいで うちにかえり、すえっこむすこに いった。「さあ、きょうは うんめいのひです。あ
そこの かわで、はだかになって、まっでいてください。あとは、わたしのいうとおりにして
ください。きっと しあわせに なれますから」すえっこむすこは ネコのいうとおりにした。
おうさまのばしゃがとおりにかかると、ネコはおおごえで よばわった。「たすけてください！
たすけてください！わたしのしゅじんの カラバこうしゃくが おいはぎにあって、こまっでい
ます」



おうさまは、ネコのこえをきいて、ばしゃをとめた。いつも いろいろ みつぎものをもってき
てくれる きまえのいいカラバこうしゃくがこまっていなら、たすけてあげよう。けらいに、じ
ょうとうなふくを もってこさせました。ほんとうは、こなやの すえっこむすこ。でも、じょ
うとうな ふくをきてカラバこうしゃくだと なのったら、なんともりっぱな わかものにみ
えた。せかいでいちばんうつくしい おうじよさまとすえっこむすこは ひとめで こいにおち
ました。



すえっこむすこをのせて、おうさまの ばしゃは すすみませす。ネコはさきまわり。いきさきの
のうじょうで はたらく のうふたちを おどしてまわった。「いまからくる おうさまた
ちに、このとちは カラバこうしゃくさまのものだと いうのだ。さもなければ、おまえらみ
んな、くっちまうぞ！」ほどなくして とおりかかった おうさまたちは、のうふたちにききま

した。「これこれ、このすばらしい はたけは だれのものじゃ」「へえ、ここは、カラバこ
うしゃくさまのものですだ」「なんと！りっぱなのとちを おもちですな！」おうさまは、か
んしん しきり。けれど、すえっこむすこは ネコにいわれたとおり、なにもいいませんで
した。そして、おうじよさまと みつめあっていました。



ひろいとちのさきには、ひとくいおにのしろがあります。じつは、これまでのとちは ぜんぶ、この おにのものでした。ネコは おにのしろに やってきました。そして、おにに しんせつそうに はなしかけました。「あなたは なんにでも ばけられる すばらしい ちからがあるとうかがいました。どうか、そのすばらしいまほうを みせていただけませんか」おにには いいきぶんになって、おそろしいライオンや おおきなゾウに なってみせました。ネコは おにを ほめそやしました。「いやはや、なんと すばらしい！しかし どうでしょう。 おおきな あなたさまが、ちいさなものには・・・たとえば ちいさなネズミなんぞには ばけられないんでしょあ」おにが なんのそれしきとばかりに ネズミにばけると、ネコはさっと

ネズミにとびかかり、ぱくりと たべてしまいました。



これで ひとくいおにの しろもともちも、カラバこうしゃくのものとなりました。おにに ひどいあつかいをうけてきた めしつかいたちも ネコのいうことをきくほうがいと よろこんでいます。そこへ、おうさまのばしゃが とうちゃくしました。「カラバこうしゃくの おしろへ ようこそ！」おうさまは、カラバこうしゃくが、すばらしいとちに、りっぱなしろをもった おかねもちだとおもいました。「どうだね、カラバこうしゃく。わたしのむすめと けっこんしな

かね。どうやら おたがい、とても きにいったようだが」そして そのひのうちに けっこん
しきと せいだいなパーティが とりおこなわれました。

Le Chat botte



めでたし めでたし

長ぐつをはいたねこ

<http://p.booklog.jp/book/62818>

著者 : kokkomame

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/kokkomame/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/62818>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/62818>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ